

2026年3月

NEC キャピタルソリューション株式会社

# わくわく子どもの池プロジェクト活動報告 江東区立第二砂町小学校 (2025年11月活動)

第二砂町小学校の校庭には、小さな公園のような「二砂小ポケットエコスペース」があります。学校に野生の生きものを呼び戻すためにつくられた場所のようですが、水が少なく、草がたくさん生えてしまった池があります。小学4年生の子どもたちがこの場所を再生したいと考えているとのことで、授業を行うこととなりました。



## 1 回目授業 生きものとお話しする方法 (2025年6月12日 オンライン)

小学4年生3クラスの子どもたちがオンライン授業で、飯島先生から生きものとお話しする方法について学びました。

生きものの体のつくりは、暮らし、すみかに合わせて形や大きさが違うことを学びます。また、カエルを例に、生きものたちは「ありがとう」のつながりの中で生きていることが分かりました。

子どもたちからは学校のエコスペース(ビオトープ)に関連した質問がたくさんありました。ビオトープに生きものが来てくれる方法、外来種の問題、生物多様性の意味、

エコスペースのバランス、エコスペースに植える花や草、お手入れの方法など。そして、最後の質問は「小学生がビオトープをやるのは大変ですか？」でした。飯島先生の答えは、「小学生がやる方が簡単です。大人の場合、常識が邪魔して生きものとお話しするのが難しいから。作業は、頑張れば1日でできる。だけど、それまでにしっかり計画を考える必要があります。」これを聞いた子どもたちは「できるかも！」と盛り上がりました。



## 2回目授業 ビオトープに呼びたい生きものの発表(2025年7月16日 オンライン)

飯島先生に二砂小ポケットエコスペースの様子とビオトープに呼びたい生きものを発表する授業を行いました。それぞれの班に分かれて発表します。

呼びたい生きものがたくさん発表されました。

鳥：カワセミ、スズメ、ツバメ、シジュウカラ

昆虫：ミツバチ、バッタ、トンボ（アキアカネ、ナツアカネ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、アオハダトンボ）、テントウムシ、カマキリ（ハラビロカマキリ）、チョウチョ、カブトムシ

池にすむ生きもの：カエル（アマガエル、ガマガエル）、メダカ、など



「こんなに色々な種類の生きものが、同じビオトープで暮らすことができますか？」という質問に、飯島先生は「池に水草がたくさん生えているところとそうでないところを作る、草地には背の低い草と背の高い草があるところを作るなど、工夫すれば色々な生きものを呼ぶことができるよ」と答えていました。

### 3 回目授業 ビオトープに呼びたい生きものと設計図の発表（2025 年 11 月 4 日 オンライン）

この日は、ビオトープ造成に向けた授業を実施しました。

前半は、生徒たちは「呼びたい生きもの」や「育てたい植物」についてグループごとに発表を行いました。生きものの特徴やすみか、食べ物、そして人間と生きものとの「ありがたいのつながり」に着目しながら、ビオトープをデザインするためです。

呼びたい生きものがメダカ、アマガエル、ニホントカゲ、シオカラトンボ、カワセミなどに絞り込まれて、ビオトープに必要な要素もわかってきました。

発表のあと子どもたちは飯島先生に「メダカに餌は必要？」「カナヘビは自分で餌をとれる？」「カワセミはどんな虫を食べる？」など、鋭い質問を投げかけ、自然のしくみへの理解を深めていました。

後半では、各クラスが考えたビオトープのデザインを発表。池の深さや植物の配置、鳥や昆虫を迎えるための木の種類など、細部まで工夫された案が並びました。

自然とのつながりを大切にしながら、生きものが自ら訪れる環境づくりを目指す、創造性と学びに満ちた授業となりました。



### 事前作業と土の搬入（2025 年 11 月 12 日・19 日）

ビオトープ造成に向けて、アサザ基金のスタッフと当社のボランティアメンバーで事前整備を行いました。

水が溜まりにくくなった池から、草の根がたくさん含まれる土や石ころ、ゴミを取り

除き、設計した深さに整えます。

作業中に子どもたちが見学に来てくれました。伸びすぎた草の中にバッタやキリギリスが見つかり、すでに来てくれている生きものもいることがわかって、期待が膨らみます。

造成授業前日には、新しい土をトラックで搬入しました。トラックが大量の土を下ろす様子に、先生方もちょっとわくわくしていたようです。



#### 4 回目授業 ビオトープ造成 (2025 年 11 月 20 日 造成作業)

4 年生の子どもたちが中心となって、二砂小ポケットエコスペースで池の再生と、カワセミを呼ぶための小さい山作り、草地の整備を行いました。

まず除草シートを敷きます。草の根が池に穴をあけて水漏れするのを防ぐためです。その上に水を貯めるための防水シートを敷き、新しい土を池の部分にバケツリレーで運びます。それから伸びすぎた草を半分抜いて菜の花の種をまき、カワセミを呼ぶための小さい山を作り、池に水草を植えます。ビオトープの注意事項を書いた看板も作って設置しました。



最後に池の水が溜まってからメダカとヌマエビとタニシの放流式を行いました。  
これから計画した通りに生きものが来てくれるといいですね。

